

令和元年5月1日に思う

「令和」の時代が明け、「村制施行130年」「伊勢湾台風から60年」というまさに節目の年に、村民を代表する新しい議会議員の皆さまが選ばれました。村づくりを熱く訴え、「舌戦」を繰り広げて勝ち抜いた8人の皆さまに心より敬意を表し、およろこびを申し上げます。

5日間の選挙戦は、まちがいなく村民の皆さまの村づくりに対する思いや郷土を愛する心に新たな火をともし、村づくりや地域づくりを考えるキッカケになったものと確信しています。

昨今、ふるさと創生や地方創生と叫ばれながらも、高度経済成長の時代が終焉^{えん}を迎え、政治の本質は「富の分配」から「政策の選択と集中」へと転換し、我々行政にも難しいかじ取りが求められています。あらためて地方の真価が問われる時代であり、「地方の智恵」が試されるものと覚悟しています。私たちはまだまだ村再生の道半ばにあり、様々な課題が残されていますが、「水源地の村づくり」やそれを象徴する「川上宣言」は高い評価をいただいています。

議会の役割は「行政に関する事件を審議し、議決する」とあります。今私たちがすべきことは「都市にはない豊かな暮らしを築くこと」を早急に具現化することであり、その具現化に向けて議員の皆さまと真摯に議論を深め、課題を先送りすることなく、次の時代への道すじをしっかりと決めていきたいと思えます。